

対象	小学校高学年以上
教科	社会科
該当 単元	小学6年 「町人の文化と 新しい学問」 ・人々が歌舞伎や 浮世絵を楽しむ
教科書	東京書籍等
掲載日	2017.10.7. 朝刊12版市民総合面

# 歌舞伎 こう楽しんで

## 金山 片岡愛之助さんトーク



歌舞伎の楽しみ方など  
について話す片岡愛之  
助さん。金山の日本特  
殊陶業市民会館で

歌舞伎公演「錦秋名古屋顔見世」(二十五日まで)に出演している片岡愛之助さん(四毛)のトークショー「歌舞伎の世界への誘い」(中日新聞社主催)が

上演中の演目を現代に置き換えて解説しながら、役者の顔の化粧を「赤が正義の味方、青はだいたい悪い人か幽霊、化け物が茶色。この三つを覚えていただくだけです」と分かりやすいと紹介。歌舞伎の見どころの一つ「早変わり」の舞台裏は「F1のピットインや、オリンピックの競技のよう」と明かし、「周囲に遠慮せず拍手で盛り上げてくれれば、もっ

といい演技を見られると思います」と気軽な鑑賞を勧めた。  
錦秋名古屋顔見世は、五年続いた市民会館での公演を今年で終え、来年から伏見の御園座新劇場に移る。  
(南拡大朗)

問1：片岡さんが、覚えておくとなりと話された役者の顔の化粧の違いを整理しましょう。

赤【

青【だいたい】 茶【

問2：片岡さんは「歌舞伎の見どころの一つ」は何だと話されましたか。

【

問3：片岡さんは、より良い演技を見るにはどうするとよいと話されましたか。

【

発展：学校での学びと片岡さんの話から、歌舞伎が江戸時代から現代までずっと

人々に愛され親しまれている理由を仲間と話し合ってみましょう。

自分の考え：

仲間の考え・まとめ